

校長室だより

# 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

## 一流の人は上手にパクル

新聞の書籍の広告欄で見つけました。  
いかがですか、この本のタイトル  
「一流の人は上手にパクル」。

「パクル」という言葉は「負」のイメージを与えますが、私の推測では、「活用力」という意味で使われているのだと思います。

今日はちょっとまじめな話です。

今、子どもたちにつけなければならない学力を簡単に言うと、「知っている力」と知っていることを「使う力」ということになります。

基礎基本となることはきっちり覚えさせ、さらに「知っていること」を目的に応じてうまく「使える」ようにすることなのです。この「使う力」こそが「上手にパクル」力なのです。

各学年が、「国名オリンピック」や「漢字オリンピック」「歴史人物オリンピック」などを行っていますが、これらは、「知っている」ことを定着させるための取組です。

また、授業中に先生が出すテーマに基づいて話し合ったり、テーマに基づく考えを作文や図や表にかいたりする学習が「使う」力を高める学習になります。

テーマに応じて必要な知識を取り出した知識を組み合わせたりしながら新たな価値を生み出すことのできる人がこれからの社会に求められているのです。

## 油断大敵

先日、手品の道具を仕入れるために、こっそり町に出かけました。手品の道具を売っているお店の場所が分からなくて、通りがかったきれいなお店の店員さんに尋ねてみました。

すると、じっと私の顔を見て、  
「校長先生でしょう?」  
「春日小学校の校長先生ですよ!」  
「私の子ども春日小学校でお世話になっています。」

**ワァー! びっくりしたあ(\*° 旦°)!**



こうべ

こうべ

## 頭を垂れる人に頭を垂れる

「どうしてあの人は私に挨拶をしないのか」と、時々愚かな心が頭をもたげることがあります。

しかしこの頃、子どもたちの立ち止まり挨拶を見ながら一つの悟りが開けました。

こうべ

「人は、頭を垂れる人に頭を垂れる」

1年生が前からやって来て、私の前に立ち止まり、両足を揃え、両手を太ももに当てて、深々と頭を下げて

「校長先生、おはようございます」  
って挨拶をされると、思わず私も両足を揃えて深々と頭を下げて

「おはようございます」  
と返事をしている自分に気づくのです。

1年生に限らず、我が校の子どもたちの立ち止まり挨拶には不思議な力があります。

大人の愚かな傲慢さを打ち砕き、

「相手を変えようとするより、まず自分が変わることですよ」  
と語りかけてくるのです。

## お待ちしております!

明日は学習参観、そして、コミュニケーション・スクールとしての成果報告会を行います。

教室と体育館がお父さん、お母さん、そして、地域の方たちで溢れるように賑わいますように。

お待ちしております(^0^)

